

## 内容評価基準報告書

評価	A-1 - (1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している
<b>【講評】</b> 事務室の奥のスペースに可動式の簡易ベッドや衝立を用意して、子どもの体調が悪い時などに静養できるスペースを設けています。またこのスペースは、子ども同士のいさかいがあった際に気持ちを落ち着かせるためや、騒がしい環境で疲れた時などにも利用できる場となっています。1日の流れの中で35分程度の学習時間を設けていますが、学習に取り組むかどうかは子どもたちの自主性に任せています。宿題をしたい子どもたちが落ち着いて行えるように、可動式のパーテーションを活用するなど、さらなる環境の工夫も望まれます。	
評価	A-1 - (2) 放課後児童クラブにおける育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している
<b>【講評】</b> 毎年春に保護者会を実施して、学童クラブのしおりを活用して、法人の理念や子どもたちへの思い、入所後の生活についての必要事項を丁寧に説明しています。子どもたちに対しても、第2学童クラブの特色や職員一人ひとりの思いなどをわかりやすく説明するパンフレットなどを作成し、通所の意欲を引き出す取り組みなどにも期待します。毎月の指導計画（月案）に掲載している『ねらい』などについても、学童だよりに掲載し保護者と共有することが望まれます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②子どもの出欠席を把握し、適切に援助している
<b>【講評】</b> 1階の出入り口に職員が出て、子どもたちを迎え入れて検温表などを活用して出所を確認しています。2階に上がった子ども達が自身の降所時間に合わせたカラーボックスに提出した連絡帳を担当職員が出席簿に記載し、出欠席のダブルチェックをしています。来所予定の子どもたちが時間になっても来ない時には、学校の事務室に電話で確認し、下駄箱を見てもらうなど速やかに状況を確認できる仕組みが整っています。	
評価	A-1 - (3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している
<b>【講評】</b> ワンフロアの室内で、おやつや遊び、学習のスペースを分けることが難しい環境にあります。そのためホワイトボードに大きく時間割が書かれて、全員が一斉に遊びや片付け、おやつ、外遊び、学習などと時間を区切って生活しています。外遊びができる校庭が離れていることなど、環境的な難しさは充分理解できますが、子どもたち一人ひとりが帰宅後にゆったりとくつろいで過ごせるよう、おやつや遊び、学習の時間を各自が主体的に選べるような工夫も求められます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるように援助している
<b>【講評】</b> 挨拶や健康衛生、整理整頓など基本的な生活習慣については、毎月の指導計画にも記載し、子どもたちが身につけられるようにしています。集団生活を維持するために、子どもたちが自ら進んで役割を分担できるよう、当番活動の取り組みなどにも期待します。また、決まりやルールを一方的に押し付けるのではなく、子どもたち同士で話し合う機会を設けることも望まれます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	③子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している
<b>【講評】</b> 学習の時間には、机に座り『自習』又は『読書』をすると決まっていたが、子どもたちの要望を受けて机でできる遊びもして良いことに変更して主体的に過ごせるようにしました。また、子どもたちからのリクエストを受けて市役所からボードゲームを借りて来るなど、子どもたちの声を聞き入れて、遊びや生活を改善していく姿勢が見られます。工作の得意な職員が材料などを工夫して、子どもたちが楽しめる季節の制作なども提供しています。子どもたちが発案した行事などを取り入れて、楽しみをさらに増やしていくことを期待します。	

<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	④子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している
【講評】 宿題を破られた、落書きをされたなどの子どもたち同士のトラブルについては、まずは双方の言い分を自分たちの言葉で説明できるように促し、折り合いがつけられるように援助しています。必要に応じて両方の保護者とも連携を図るよう努めています。異年齢での交流を促すことを目的に班を設けていますが、おやつ時に班ごとに座る以外には特に班活動を行っている様子はありません。子どもたち同士がお互いの良い面を認め合えるような工夫も求められます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	⑤子どもが自分の気持ちや意見を表現できるように援助している
【講評】2か月に1回、3年生がお店屋さんになっておやつのお買い物ごっこを楽しむ『ショッピング』などの行事を行っています。子どもたちが主体となり話し合って運営していくような行事はまだ少ないようですが、今後希望を聞き取り上げていく予定にしています。子どもたちが職員に気持ちを伝えやすい雰囲気づくりや信頼関係の構築方法について、職員全体で話し合っていくことも求められます。	
評価	A-1-(4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている
【講評】 すべての子どもたちの受入れの判断については市が行っています。受け入れ決定後に子どもたちの個別の情報が伝達されて、その後職員で話し合って受け入れ体制を整えています。市が事前に把握していない軽度な障害などについて、入所の際の個別面談等でわかる場合もありますが、その都度対応方法などを検討しています。障害の程度に関わらず、同じ小学校に通う子どもたちとして、工夫して受け入れていけるように努めています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている
【講評】 特に配慮が必要な子どもたちについて、個別の育成計画や記録などを残してはいませんが、毎日実施している職員のミーティングの中で、子どもたちの気になる行動や個別の対応について共有しています。毎月1回、外部の作業療法士に入ってもらい、子どもたちの様子を見て、関わり方などに関してアドバイスを受けています。障害の有無にかかわらず職員間で課題が上がってくる子どもたちについては、個別の記録を残していくことも望まれます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	③特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている
【講評】 障害認定を受けていない場合でもコミュニケーションが難しい子どもや、家庭の状況の変化等で気持ちや行動が荒れてしまう子どもについて、学校ではどのように過ごしているのかなどの様子を共有することができれば、関わり方の参考になってありがたいと職員は日頃から感じているようですが、保護者の同意が得られないなどの理由で学校との連携は難しい現状にあります。法人本部や学校、行政、保護者代表などが参加する運営委員会を定期的に実施していますので、学校や関係機関との連携のあり方についても今後検討していくことが望まれます。	
評価	A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①放課後の時間帯におやつを適切に提供している
【講評】 法人の栄養士が作成した腹持ちの良いメニューを中心にしたおやつを提供し、毎月おやつカレンダーも発行しています。おやつは自分で食べられる量を選んで箱から出せるようにしたり、班ごとにじゃんけんをしておやつを選ぶ順番を決めるなど、楽しく食べられる工夫をしています。現在子どもたちからおやつのリクエストを受ける体制には無いようですが、子どもたちの意見を聞き、メニューに取り入れていく工夫も望まれます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）を防止するための対応を行っている

**【講評】**

食物アレルギーのある子どもについては、入所の際に病院からの『学校生活管理指導表』の提出を受けています。食べられない食材については、大きい文字の表を作成し事務室内に貼り出しています。おやつを入れる箱を個別に用意して、担当の職員が必ずついて食べられるか食べられないかを確認しています。賞味期限の近いおやつについては一覧表にまとめるなど、安全管理に努めています。食物アレルギーや誤嚥、食中毒の防止などについて、マニュアルの整備や研修の実施も求められます。

評価	A-1-(6) 安全と衛生の確保
----	------------------

<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもの安全を確保する取組を行っている
--	----------------------

**【講評】**

子どもたちの帰宅時間ごとに色を分けた連絡帳入れを用意したり、一人帰りかお迎えかなどを毎日確認する一覧表を作成するなど、間違えて子どもを帰してしまわないようにしています。また、子どもたちが学童クラブから帰宅する際の経路を、方面別に地図にして掲示しています。1階の出入口のドアは常に施錠して、安全管理に努めています。地域住民との連携を図り、子どもが自分で自身の安全を守れるように『地域安全マップ』づくりなどの取り組みも期待します。

<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②衛生管理に関する取組を適切に行っている
--	----------------------

**【講評】**

日々の清掃点検や毎週土曜日に行う清掃などについては、チェックリストを設けて、確認を行っています。職員は、日直やおやつ担当、ノート係、外遊び担当など、日々役割分担を行い業務にあたり、清掃場所はその分担ごとに決められています。チェックリストだけでは誰が清掃し誰がチェックを行ったかが明確ではありません。衛生管理責任者を明確にするなど、さらなる取り組みが望まれます。

評価	A-2-(1) 保護者との連携
----	-----------------

<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①保護者との協力関係を築いている
--	------------------

**【講評】**

開所して間もないクラブで、保護者主体の父母の会のような組織はなく、保護者からも設立の希望はありません。運営委員会に出席をする保護者代表は春の懇談会で決めています。懇談会へ参加する保護者の人数も限られているようです。親子で一緒に楽しめるイベントの開催など、保護者同士が交流したり職員との信頼関係を深めるきっかけとなるような取り組みも求められます。

評価	A-2-(2) 学校との連携
----	----------------

<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている
--	---------------------------------

**【講評】**

毎月学校だよりをもらって、行事予定などを事前に把握しています。学級閉鎖や補修授業のあるクラスの情報なども事前に知らせてくれるので、子どもたちの出欠や来所時間の予測ができています。運動会などの学校行事には職員にも招待状を届けてくれるなどの交流が図られています。夏休みの子どもたちの様子を写真で紹介した『夏休み特別号』のお便りを子どもたちのクラス担任にも配布するなどして、顔の見える関係性づくりにも期待します。

評価	A-3-(1) 子どもの権利擁護
----	------------------

<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている
--	-------------------------

**【講評】**

職場倫理については就業規則に明記されて、虐待防止や子どもの権利擁護については毎年研修も行われてします。研修には全職員が参加していますが、職員の自己評価では不十分だと感じている方が多いように見受けられます。子どもの権利の尊重などについては、チェックリストなどを活用して毎年自己評価を実施する施設も多く、法人全体として検討することも望まれます。